

## 日常のあいさつが緊急時の原動力に



### 【討議の視点】

- ・安全で安心な地域づくりに関する住民の意識の高揚と防災・防犯につながる活動の促進について

### 【発表の概要】

#### 発表1 長崎県 富田さん

- ・平成16年の事件を契機に地域住民が一体となって学校に関わり始め、学校支援会議の取組が始まった。
- ・学校支援会議は、子どもへの支援に止まらず、地域の基盤づくり、ネットワークづくりにも繋げている。

#### 発表2 宮崎県 茜ヶ久保さん

- ・寛文2年外所地震の教訓を生かした自主防災の意識向上と実践により、地域コミュニティの再生に繋げている。
- ・自主防災隊は、「誰も津波で死なせない」を活動の原動力として、地元精通した様々な役職の方で構成され「顔の見える」組織になっている。



- ・家族だけでなく住民全てと一緒に避難することがコミュニティの原点である。

### 【討議の柱】

- ①住民の意識の高揚
- ②活動の促進

### 【討議の概要】

- ・高齢者住宅のゴミ出し支援や乳酸飲料の配付を兼ねて、高齢者の見守りを実施している。
- ・防災メールを使いこなせない高齢者にとっては、防災無線が有効である。また、自治会独自の情報を流すことができる利点もある。
- ・青パトで防犯パトロール以外にも学校周辺の見回りを行うことで、地域子どもたちとお互いを知ることができる。
- ・子どもの見守り活動が、高齢者の生きがいとなっている。
- ・日常のあいさつが緊急時の原動力となり、コミュニティの形成にも繋がるのではないかと。

### 【まとめ】

- ・安全・安心な地域づくりは地域住民の願いであり、東日本大震災の発生等で防犯・防災の意識は高まっているが、取組は地域差が大きい。
- ・どの地域も子どもと繋がる取組を考えているが、それを実行に移さなければ地域住民の意識の高揚は望めない。
- ・社会教育に携わる皆さんは、地域の方と「人見知りより顔見知り」へ、そして地域の核となる人材となって欲しい。



※詳細は、宮崎県生涯学習課ホームページ「学び応援ネット」に掲載されています。